

1 大分県行財政改革アクションプランの位置づけ

指定管理者制度や民間委託の導入・拡大

学校支援機能の維持に配慮した上で、閑散期の施設の運営効率の改善やサービスの向上、維持管理費の節減を目指し、指定管理者制度を含めた民間活力の導入を検討。

2 早期検討の必要性

行革推進委員会委員（安藤委員）の指摘（平成27年10月30日）

「取組のなかで、最終年度である「31年度までに検討」という項目は、少なくとも中間年度（平成29年度）までに検討を行い、できるものから実施する方がよい。」

3 指定管理者制度による民間活力の導入で期待される効果

- ①自主事業で多彩な体験活動プログラムが開発されるなど、サービスの向上
- ②利用者の増加
- ③運営経費の縮減

4 論 点

- ①そもそも社会教育施設として必要かどうか
- ②必要なのであれば、今の県直営（社会教育主事、指導主事、行政職員を配置）の形が良いか
- ③仮に、現状の直営で良いとしても、サービスの向上等、課題にどう対応するのか

青少年の家の概要、状況等について

(1) 設置目的

青少年の健全な育成を図り、もって社会教育の振興に資するための施設として設置

(「大分県立社会教育総合センターの設置及び管理に関する条例」第1条)

(2) これまでの経緯

湯布院青年の家の廃止（平成16年度）

県内社会教育施設の地域性を鑑みて、湯布院青年の家利用の高校生等を他施設で受入れ、人件費や管理運営費の大幅削減を実施。

(人件費 64,051千円の減、管理運営費 38,599千円の減)

生涯教育センター、香々地・九重青少年の家の統合（平成21年度）

3施設を統合し、「社会教育総合センター」とした。センターに具体的事業の企画立案機能を持たせ、両青少年の家を事業課として一体的な事業を実施。総務一元化により経費を削減。

(人件費 56,880千円の減、管理運営費 7,214千円の減)

社会教育総合センターの廃止（平成28年度予定）

センターが担っていた機能の内、両青少年の家は引き続き学校教育と連携しながら体験活動の充実を図る。研修や人材育成業務は、県立図書館に移管することで、利用者の利便性を図る。

(人件費 23,051千円の減、管理運営費 19,327千円の減)

(3) 施設の概要等

香々地青少年の家（昭和48年8月開所）



宿泊室（324人）、プラネタリウム館、食堂、キャンプ場、プレイホール、アスレチック広場、海水浴場など

【主な改修】

アスレチック広場改修 8,232千円（H21年8月）

プラネタリウム機器改修 69,825千円（H22年3月）

プレイホール床張替他 30,926千円（H23年7月）

※今後の保全費用・・・ 447,688千円（～H31年まで）

九重青少年の家（昭和58年7月開所）



宿泊室（304人）、プラネタリウム館、食堂、キャンプ場、プレイホール、アスレチック広場、天体観測場、多目的広場など

【主な改修】

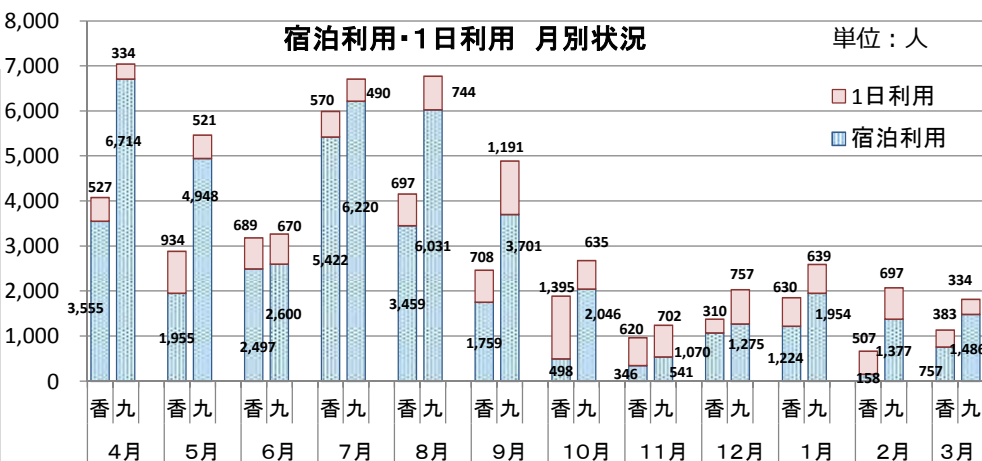
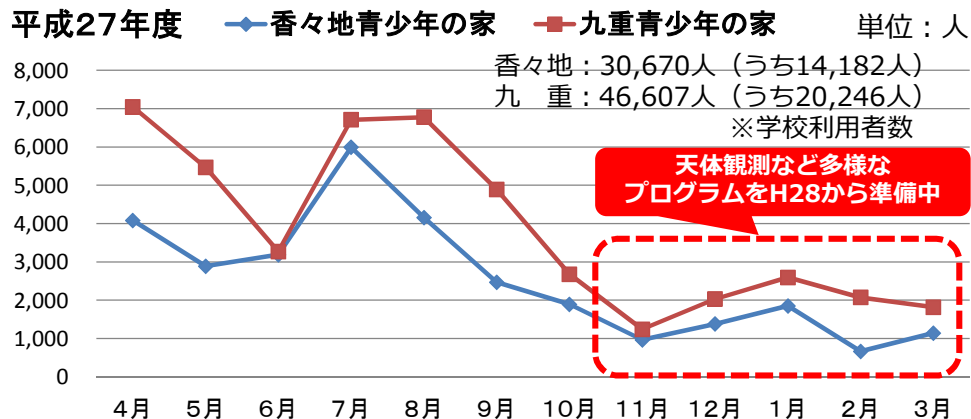
プラネタリウム機器改修 59,850千円（H20年3月）

宿泊棟外壁工事等 26,609千円（H22年11月）

天体観測棟外壁改修 5,470千円（H23年3月）

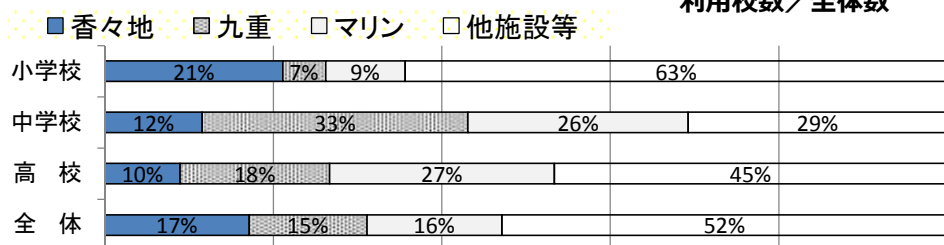
※今後の保全費用・・・ 128,659千円（～H31年まで）

(4) 施設の年間利用状況



(5) 旅行・集団宿泊的行事利用状況

平成27年度



- ◆県下の小・中・高等学校の約3分の1は、香々地・九重青少年の家を利用
- ◆中学校においては、約2分の1が香々地・九重青少年の家を利用
- ◆小学校は市町村施設等の利用が多い

(6) 役割と機能

【社会教育法第6条第3項】

都道府県の教育委員会は、・・・青年の家その他の社会教育施設の設置及び管理に関すること。を行うほか、次の事務を行う。・・・
社会教育施設の設置及び運営に必要な物資の提供。（抜粋）

【学校教育法第31条】

教育の目標の達成に資するよう、教育指導を行うに当たり、児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、社会教育関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

【学習指導要領】

旅行・集団宿泊的行事…集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。

(7) 大分県長期総合計画・大分県長期教育計画

安心・活力・発展プラン2015

子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進（豊かな心の育成）

豊かな自然や社会に触れる体験活動の推進

青少年の健全育成（豊かな心を育む体験活動等の推進）

学校内外における生活体験活動、青少年施設等における自然体験活動などの推進

「教育県大分」創造プラン2016

豊かな心の育成（体験活動の推進）

豊かな感性、社会性や対人関係能力を育むため、自然や社会の本物に触れる体験活動を推進する

不登校対策等の充実・強化(学校復帰・社会的自立等に向けた支援)

青少年教育施設における不登校児童生徒を対象とした自然体験・生活体験プログラムの活用促進

(8) 青少年の家の4つの機能

【学校支援機能】

- ◆ 学校・学年・学級づくりに繋げる
長期宿泊型の体験活動の実施
(担任と連携した個々への対応)
- ◆ 学習指導要領に対応し、学校教育
と連携したプログラム等の提供
(環境学習ワークショップ等)



「仲間づくりプログラム」において野外炊飯をする子ども達

「人間関係育成プログラム」等を用いることにより、学年や学級の友人関係作りに効果を出すとともに、寝食をともにした共同生活をするすることで、担任の生徒理解に役立っている。

【指導者養成機能】

- ◆ 児童生徒を指導する手法や効果等の理解のための教員対象研修や活動事前研修の実施
(集団活動担当者研修会等)
- ◆ 学校に出向いての体験活動や施設での活動の教員への指導・助言 (指導者養成)



集団宿泊活動担当者研修会の様子

「集団宿泊活動担当者研修会」等により、学校教職員に必要な、自然体験や生活体験を安全かつ効果的に実施するスキルの向上に役立っている。

【調査研究機能】

- ◆ 不登校・発達障がい等の新たな課題に対応した体験活動のプログラム開発及び普及啓発の充実
(心のふれあいキャンプ推進事業)
- ◆ 学校が効果的な宿泊体験活動を行うための調査研究と情報発信
(学社連携体験活動プログラム開発プロジェクト)



大学生メンタルフレンドとバームクーヘン作りをする子ども達

不登校傾向にある子どもが自然体験や共同生活をするすることで、学校復帰に改善がみられることから、大分大学と連携して研究し、その成果を県内の学校に普及啓発している。

【体験活動提供機能】

- ◆ 自然体験活動の実施
自然体験を活かした豊かな心の育成
(発達段階に応じた適切な指導)
- ◆ 生活体験活動の実施
・生活プログラムによる、生活習慣・生活規律の習得
・集団生活を通じた、人間関係づくり
(発達段階に応じた適切な指導)



発砲スチロールの浮島でお互いに支え合う子ども達の様子

「わくわくシーサイドキャンプ」(4泊5日)により、自然体験を通して苦しいことや困難なことに立ち向かい、仲間とともに乗り越える経験を積み重ね、達成感や自己肯定感、挑戦意欲を育成することに役立っている。